



お知らせ

人権擁護委員制度30周年

12月4日～10日・人権週間

十二月四日～十日は、人権週間です。

私たちの「基本的人権」は憲法によって保障されています。この基本的人権を守るために、人権擁護

委員制度が設けられ、私たちの身近なところで人権擁護委員が活動しています。この制度は、世界にも例のないユニークなもので、今年で三十周年をむかえました。

日常生活の中で、これは人権問題ではないだろうかと感じたり、法律上どのようなことになるのかわからなくて困った—このようなときは、人権擁護委員が法務局長岡支局へ気軽にご相談ください。交通事故・借地借家・扶養・相続などの相談にも応じます。相談は無料で、相談内容については秘密を守ります。

人権擁護委員
関 和男(税金 ☎二五五五)
坂牧春吉(種芋原 ☎二八八三)

電話の移転工事はお早めに

家屋の完成や、転居の日が決まりましたら、一日も早く電話の移転工事を申し込んでください。また、家屋の増改築をするときは、電話用の配管をお忘れなく。

長岡電報電話局
☎(0258)-32-2000 (無料)

保育所入所申込受付

種芋原・虫亀・竹沢の各保育所に、来年4月から入所を希望される児童の申込の受付をしています。

◎該当者……児童福祉法による保育所への入所の措置基準に適合し、保育を希望する児童

◎申込期間……12月1日～12月28日

◎申込先……役場住民課へ

※なお、下記の日程により、出張受付を行います。印鑑と健康保険証を持っておいでください。

期 日	会 場	時 間
12月11日(月)	種芋原保育所	9:00～16:00
12月12日(火)	民俗資料館	13:00～16:00
12月13日(水)	虫亀保育所	9:00～16:00
12月14日(木)	東竹沢診療所	13:00～16:00
12月15日(金)	竹沢保育所	9:00～16:00

○入所申込用紙は役場住民課と各保育所にあります。また、出張受付の当日は会場でも用意します。

○今回より個人通知はしませんのでご了承ください。(お問合せは住民課へ ☎2332)

インフルエンザ予防接種第2回目

期 日	会 場	時 間
12月4日(月)	東竹沢小学校	13:30～14:00
12月5日(火)	竹沢小学校	〃
12月6日(水)	池谷小学校	〃
12月7日(木)	種芋原小学校	〃
12月8日(金)	山古志中学校	〃
	虫亀小学校	14:30～15:00

国民金融公庫

第二回住宅改良(増・改築) 工事の申込受付

◎住宅改良(増・改築資金) 受付期間—昭和五十四年 一月三十一日まで
置する場合も融資の対象に。

◎大型住宅建設資金 (一〇〇㎡～一五〇㎡の住宅) 受付期間—昭和五十四年 一月三十一日まで
※ 詳しくは、住宅金融公庫北関東支局またはもよりの銀行等にお問合せください。

年賀状は12月20日までに

○年賀状は十二月十五日から受付します。
○あて名はくわしくはつきりと。
○年賀状は、局内、県内、県外に分け、たばねてお出しください。

役場の年末年始の休暇

恒例により、十二月二十九日から明年一月三日まで、年末年始の休暇として、役場・診療所・保育所の平常勤務を休ませていただきます。

戸籍関係の届出、または急を要するご用件がありましたら、当直者にお申出ください。(総務課)

主な記事

- 産業まつり審査報告
- 村政功労者表彰
- ことしの除雪計画
- 冬の交通事故防止
- 村の財政状況



『自分たちで作ったお米でもちを』……虫亀小もちつき大会で

村の人口

—11月1日現在—

世帯数	957	(男 1,891人)
人口	3,789人	(女 1,898人)
出生	1人	死亡 5人
10月中の住民移動	(男0・女1)	(男2・女3)
転入	8人	転出 8人
	(男5・女3)	(男4・女4)

村政巧労者表彰

永年勤続などで五名

- 村の消防団員として二十年以上勤続された
長島 半(虫 亀)
五十嵐竹志(虫 亀)
五十嵐力蔵(大久保)
- 村の農業委員として十五年以上勤続された
五十嵐英一(虫 亀)
- 村内で教員として二十五年以上勤続された
小池 喜代(桂 谷)



地域産業の振興をはかる

11月5日 第2回 産業まつり



「村の産業を見なおして、さらに活気ある村づくりをしよう」という目的で、十一月五日、第二回産業まつりが行われました。また今回より、十月二十六日の村の錦鯉品評会、十一月十日の肉牛共進会も、この産業まつりの一環として行われました。

当日は、幸い晴天に恵まれて、なかなかのにぎわいを見せていました。なかでも、バザー、やきいも、綿あめのコーナーは大繁盛。

しかし農作物等の出品点数は、三百五十点と昨年より大分少なく残念でした。

審査報告は次のとおりですが、次回のご参考にされ、この催しがさらに充実するようにご協力をお願いします。

審査報告

本年は、春の遅れによる農作業期間の短縮、五月から長期間の異常高温、六月二十六日の集中豪雨による災害などにみまわれました。しかし、この災害にもめげず、みなさんの努力により、被害を最少限に食い止められたのは幸いです。

さて、産業まつり数日前は、天候不順により、出品物の伸びやみ心が心配されました。当日、出品された点数は、こく類六十四点、根菜類二十一点、葉菜類三十八点、いも類六十七点、マユ十七点、その他作物二十九点、盆栽類十一点、民芸品六十五点などあわせて三百五十点と予想を下まわりました。本年の異常気象の結果とはいえ、やや寂しさを感じました。

以下順を追って、審査にあたり感じました点を申し上げます。

「コク類」については、整粒、品質について審査したところ、優秀品が多く、農家のご努力がうかがわれました。

しかし、胴ずれ、胴割れ、乾燥不良、被害粒の混入、選別・調整不良のものも少なくありませんでした。今後、一段の努力をお願いします。

「マユ」出品物は全般に良品でした。今後とも上葎管理に一段と工夫してください。

「盆栽」優秀品が出品され、審査の上で順番をつけるのに困難をきわめました。次回からは、さらに多くの出品をお願いします。

「民芸品」について、作品に数年来の研究努力のあとがはっきりみられました。これからも、客に喜ばれ、山古志にふさわしいものをめざして、一層の努力をお願いします。

肉牛共進会



出品点数は十八点で、全般に牛がよく揃っていました。外觀審査からみて、肉付量が多く質的にも良好なものを選定するのに審査員一同迷うほどでした。

「野菜類」は品種の特性、品質等と、商品性を加味して審査しました。

まず根菜類は全体として、浅耕地で栽培されたものとみられる根割の曲り、肉付の少ないものが目立ちました。しかし、「レンコン」は転作物として充実した優秀品がありました。ただ、シブによって品位を低下しているものも多くみられました。収穫前の茎葉切除と、水の管理等について研究願いたいと思います。

葉菜類について、キャベツ、白菜、カリフラワー等充実のよい良品が出品されました。しかし、二個に不揃いのものが見つけられましたので、出品方法について留意していただきたいものです。

「いも類」は良質のものもありましたが、全体に肌あれと充実不良のものが見つけられました。今後は、土づくりと深耕、適期植、早期土寄せ等に一層ご努力ください。

「果実類」については、良品でしたが、出品技術を商品化できるように向上させていただきたいと思えます。

「その他作物」は少ない出品でしたが、しいたけ、こんにやく等に良質品がありました。山古志の地域性を考え、これらの作物をつくり、今後はより多くの出品を期待します。

しかし、肉量だけにとらわれ、足踏の悪い牛もみられ、このため肉の質、量生産に大きな影響がありますので、特に注意してほしいものです。

長岡農業改良普及所 外審査員一同
山古志支所長 中沢 正

この産業まつりで優秀な成績をおさめられた方は次のとおりです。
(内は二点以上入賞された方の入賞点数)

◎錦鯉品評会
総合優勝 三色 田中 重吉
総合次席 三色 石原 弥一
優賞

- 星野健太郎 星野 松永(2)
- 広井 利信(2) 佐藤 昭司
- 青木 健一 松田 正夫
- 星野 作一 星野 久一(2)
- 五十嵐 弘(3) 岡本 欽治(2)
- 星野 長松 星野 義盛
- 小池 吉夫 関 広(2)
- 坂牧 伝作 関 勇(2)
- 佐藤五郎治 五十嵐ハツ
- 高野 明雄(2) 青木 武夫
- 石原 弥一 高野新之丞
- 高野 哲四 星野 欣一
- 五十嵐松男 高野 達治
- 五十嵐英益(2) 川上 進作
- 上田 高蔵 佐藤 元一
- 田中 重吉 星野 達雄
- 藤井 保 齋藤 広栄

- ◎産業まつり
金賞
星野 広一 高野 照正
佐藤 佐七 齋藤 一
関 信一 青木 幸七
星野 要治 小川 竹治
小池 三治 齋藤 ナカ
星野 行栄 樺沢 重
星野 清司 諸橋 松一
小川 キイ 坂牧吉太郎
西原熊太郎
- ◎肉牛共進会
この他銀賞など九十六点
最優秀賞 畔上 完二
優秀賞 畔上 勝
関 正史 青木 行雄
この他優良賞など七点

歳時記

師走

「十二月のことをなぜ師走というのでしょうか」という質問に、ほとんどの人が「先生まで走るほど忙しい月だから」と答えます。しかし、どうもこの説、あまり



あてにならないらしい。昔の俳諧の本あたりには、たしかに「師家の馳せ回る月」と書いたものもありませんが、それより「年果つ」とか「し果つ」すなわち、ことが終わるという意味とする説の方が強いようです。

もっとも師走は、先生が走り回らなくても「ピポー、ピポー」と走り回るあの救急車やパトカーの音は、ふだんよりあわたたしげです。交通事故は増え、一一〇番は大忙し。そして、正月が近づくと医者は休業が増え、救急車も走らされるハメになるようです。

師走という言葉は、昔は、落ちぶれて果るという意味だったらしい。それが今、私たちがこの言葉から連想するのは、シングルベルのにぎやかな響き、クリスマスツリーで飾り立てられた商店街、ボーナスを手にショッピングに出歩く人びとの姿。

それと、昔は師走といえは借金取りの話がつきものでしたが、今年の師走は、サラ金に泣く人が出なければいいと気がかりな年の暮れです。



冬將軍をのりきる

除雪にご協力を

道路や車の交換場所に駐車しないで！

路上駐車は、除雪作業に支障を与えるだけでなく、時として交通が「ストップ」したり、事故の原因にもなり、おおぜいの人が迷惑します。路上駐車及び物品の放置は絶対にやめてください。

- 万一、作業中に路上駐車している車に損傷があっても責任はもちません。
- 十二月一日より、除雪区間は全線駐車禁止となります。違反

すると罰金が課せられますのでご注意ください。

道路に雪を捨てないで！

せっかくきれいに除雪した道路も、そのあとに雪を出してしまっただけでは何にもなりません。玄関前や車庫前の雪はらいは、できるだけ交通に支障のないように。

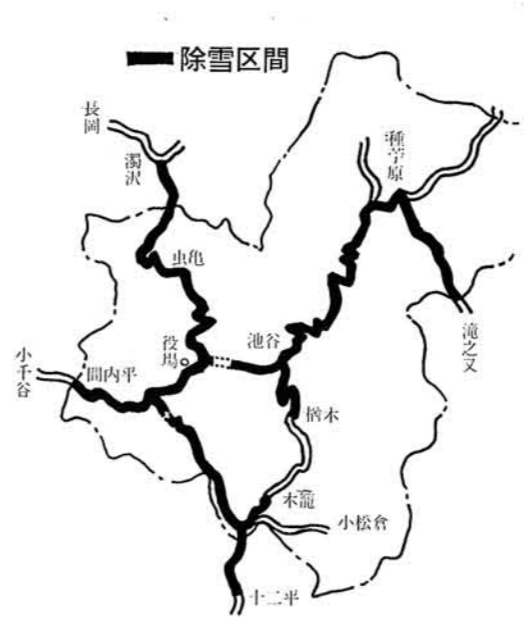


ことしの除雪計画

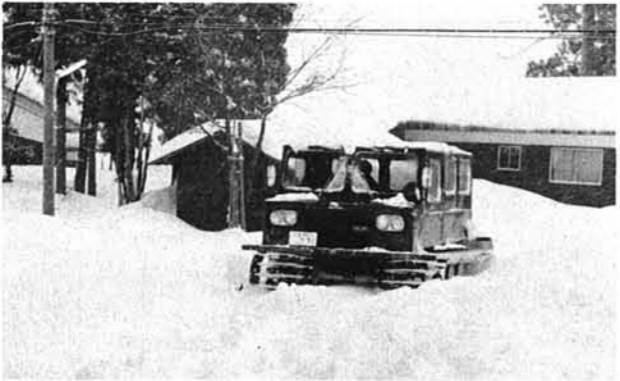
区	間	備考
第2種除雪区間	間内平～桂谷	
第3種除雪区間	濁沢～十二平 桂谷～種芋 梶金橋～木 種芋原～滝之又(郡界) 池谷～檜木	
圧雪区間	二丁野入口～局三叉路 中道屋～学校 種芋原下村倉庫～よりきば	積雪・降雪を考慮しながら、できる限り村有機材で除雪

雪上車圧雪区間は例年通り、道路整備状況および積雪等を考えながら運行

村内除雪計画図



- 道路ぞいのイケス等には、わかるように表示してください。
- なだれに注意してください。
- もし、発生し通行できないような場合は、役場等に連絡してください。
- 降雪時には、機械はフルに運転されています。連絡をいただいてもすぐに行かれない場合がありますのでご了承ください。
- 除雪車は大型のため、小まわりがききません。また、作業中は近寄ると危険です。除雪車が作業していたら、除雪をスムーズにするため、また事故防止のために、人も車も、手前で待機していただく。



この冬、平均気温は平年並かやや低いですが、寒暖の変動が大きいみこみです。

積雪量は平年並みかやや多く、厳寒期を中心にまとまった雪が降るでしょう。

初冬は温暖な期間もあるみこみですが、十一月下旬から十二月前半にかけては冬の気圧配置が強まり、雪が降りやすくなるでしょう。厳寒期には時々冬の気圧配置が強まり、寒さの厳しい期間があるでしょう。三月はほぼ平年並の天候で

十二月の予報

時々、大陸の高気圧が発達し、寒い日や雪の降る日が多くなるみこみです。しかし、一時暖かな日も現われ寒暖の変化が大きいでしょう。平均気温は並ないしやや低い

一月の予報

冬の気圧配置が時々強まり、まとまった雪の降る時期があるでしょう。平均気温は並ないしやや低く、降水量は並ないしやや多いでしょう。また、日照はやや少ないみこみです。

12月11日～1月10日

冬の交通事故防止運動

『事故を呼ぶ 飲酒運転 冬の道』

このため新潟県では、十二月十一日から一月十日まで冬の事故防止運動が繰り広げられます。

飲酒運転は絶対やめよう

- ▽ 年末年始はとくく酒を飲む機会が多くなります。
- ▽ 二人に一人が車を運転し、成人男子の八割が酒を飲むといわれます。車の運転も、飲酒も、私たちの生活に広く親しまれています。しかし、この運転と飲酒を同時に親しまれては困ります。
- ▽ 飲酒運転は、直接重大事故につながります。その死亡率たるや、平均の三・二倍という高率になっています。
- ▽ 酒を飲んだら運転しない。車での来客には酒を出さない。また、宴会等の幹事さんも十分注意してください。
- ▽ なお、十二月から酒酔い運転は一回の違反で、免許取り消しとなります。
- ▽ 車間距離はふだんの二倍以上。タイヤ・チェーンの装着は早めに。装着は広く見通しのよい安全な場所です。

夜間の事故防止

夜間は運転者の視界が悪くなります。冬期間は、さらに降雪等が加わって事故が発生しやすくなります。運転者が気をつけるのはもちろん、歩行者も夜間外出はできるだけ避け、もし外出する際は、運転者から目立ちやすい服装をしましょう。

スリップ事故の防止

冬期間は、積雪や凍結により、

村の財政状況をお知らせします

(九月末現在)

昭和五十二年上期(九月末まで)の財政状況をお知らせします。別表のとおり一般会計では、予算額に対し、収入額四八・六%、支出済額二七・九%となっています。この後、国県支出金、村債などが入り、工事請負費などの支払いが行われ、健全財政が確保されることになっていきます。

一般会計

歳入			歳出		
科目	予算額	収入済額	科目	予算額	支出済額
村税	43,845	20,997	議会費	26,849	12,286
地方譲与税	9,000	2,770	総務費	139,017	56,932
自動車取得税	6,000	3,114	民生費	117,671	48,760
地方交付税	472,000	397,547	衛生費	31,650	15,897
地方負担金	24,224	3,981	労働費	973	20
使用料	2,186	587	農林水産業費	162,674	23,774
国庫支出金	116,757	26,559	商工費	11,070	4,114
県支出金	103,081	6,805	土木費	188,397	25,000
財産収入	6,141	3,671	防衛費	24,282	5,876
寄附収入	1	—	教育費	167,314	65,088
繰入金	62,473	7,376	災害復旧費	106,565	1,158
繰越収	40,234	40,234	公債費	84,469	38,589
諸収	13,308	3,960	支金	4	—
村債	166,250	—	予備費	4,565	—
合計	1,065,500	517,601	合計	1,065,500	297,494

住民の負担状況

(村民税と固定資産税の合計)

賦課世帯数	31,763,000円
課税世帯当り負担額	956世帯
一人当り負担額	33,225円
一人当り負担額	3,793人
一人当り負担額	8,374円

特別会計

	国民健康保険	竹沢診療所	虫亀診療所	種原診療所	農業共済	済業
予算額	181,607	19,180	7,232	24,030	16,075	
収入済額	68,240	6,565	2,644	7,973	8,851	
支出済額	56,951	7,110	2,605	10,812	4,742	

年金を分かりやすく解説

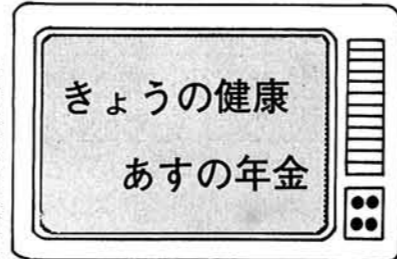
テレビ・ガイド

国民年金

わが国は高齢化社会を迎え、けれども社会保険の必要性を認められているもの、その理解となると「社会保険は複雑でどうも分かりにくい……」と敬遠する人が多いようです。そこで、社会保険庁ではみなさんに社会保険の内容を知ってもらうために、「きょうの健康・あすの年金」というテレビ番組を河内桃子(女優)の司会で放映しています。

ことしは、年金のことを十三回シリーズで分かりやすく解説し、

- 放送局 きょうの健康・あすの年金
- 放送日時 新潟総合テレビ(NST) 五十二年十月十四日から五十四年一月六日までの毎週土曜日・午前七時十五分～七時二十分
- 放送テーマ 12/2 年金の額は、このように算出されます。



ていますので、ぜひこれを機会に番組をご覧ください。

○番組名

○放送局

○放送日時

○放送テーマ

新潟県最低賃金

1日…2,392円
(時間給は1時間301円)
53年10月16日より

卸売業・小売業最低賃金

1日…2,555円
(時間給は1時間320円)
53年12月15日より

(ただし飲食店や清掃、片付け、賄いは2,392円)

ご協力ください

恵まれない方に善意の募金を

歳末たすけあい運動

みんなそろって明るいお正月をスローガンに、今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が十二月いっぱい繰り広げられます。

師走の寒空の中、生活に困っている人、恵まれないお年寄りや子ども、体の不自由な人や長い療養生活している人……このような人たちに、みなさんから寄せられた募金が使われています。

恵まれない方に善意の募金を——みんなそろって明るいお正月を迎えられるよう、助け合いの手をさしのべましょう。

なお、区長さんを通じ募金袋が配られますので、みなさんのご協力をお願いします。

(目標額は一世帯平均三百円)



駐在所

(長岡警察署 竹沢・種原・蓬平駐在所)

- ◎年末年始の防犯活動
 - 一、戸締まりの仕上げに一声お隣りさん
 - 二、環境をよくしてなくそう少年非行
 - 三、村ぐるみ勇気と協力しめ出せ暴力
- ◎出稼ぎ留守家庭の事故防止
 - ◎冬將軍到来——除雪を妨げる違法駐車の一掃を
- ◎飲酒運転とスリップ事故防止
 - 一、一杯の酒が狂わす目と心
 - 二、さあ雪だ、早めにつけようタイヤチェーン
 - 三、十二月一日から道交法改正村ぐるみで交通事故防止を
- ◎冬山の遭難事故防止
 - 無理ならば、出発するより待つ勇気

おたのしみ

二十村地名起源考

修 野 軍 史

(107)

前項の続

十ヶ村といえ、おのおの枝村もろともである。交換の土地はなかり新田と称され開田まもない土地まで交換地として提出された。その新田地とは次の土地である。

蘭木新田、迎田新田、胡桃沢新田、花連都新田、五箇新田、宮越新田、下内新田、重兵衛新田

であった。蘭木や迎田等は古くからの村であるはずだが、ここでは新田扱いになっている。その詳細な経緯は不明である。五箇新田、重兵衛新田の所在もたずねて見たがこれも判っきりした所在を知ることが出来なかった。これもまた竹沢あるいは東竹沢方面地区ではなからうか。下内新田は竹沢地区内にあることは、星野仙次郎所蔵にかかる安政五年(1828)の検地帳に記載されている。宮越新田の所在もなかなか判明しなかったが、これまた星野仙次郎家の古図に載っていた。その図によると現在の桂谷と油部落の間がそうである。宮越の地名由来もわからない。胡桃沢新田と花連都新田は共に竹沢地区から梶金地区にかけての土地で、昔はそこに集落があった。そして、胡桃沢新田部落の庄屋は星野仙次郎家で、花連都新田部落の庄屋は星野清右衛門家であったことは古文書に判っきり載っている。共に旧家であるが冬季の積雪などの不便から二つの部落とともに現在の二丁野に移転して来たものである。その御朱印高は七百六十五石三斗九升三合であった。これが元禄十五年時代の山入二十村の総計御朱印高だった。

長岡藩では、これでもなおたりに古志郡石津村(現三島郡越路町)の内、釜ヶ島、岩野の二村と三島郡片貝村(現小千谷市)の内、尻下、下、葛都三村の御朱印高を加えてなお不足して、その時点では水害地として評判だった領内の蒲原地方の本途新田などをあわせて五十ヶ村御朱印高を交換地として差出した。そして与板領の内、富永、並木、雀ノ森、佐渡山、米納津、角海濱を獲得したものである。

長岡藩が、二十村と呼んでいた二十村組はこれで事実上解消されたわけである。